91-1　表参道ケヤキ、神宮外苑イチョウ、青山霊園サクラ　（距離約 10.0km）

梅窓院で

表参道、神宮外苑、そして青山霊園の共通項は何だろう。

表参道はショッピングストリートとして知られているが、大正年間に植樹されたケヤキ並木も有名である。そして神宮外苑はイチョウ並木、青山墓地はサクラ並木が有名である。この三つの通りを歩きながら、絵画館前では測量標石に少し触れてから、青山墓地では地図測量技術者墓碑などもめぐり、骨董品の青山通りを経て表参道へと戻る。

【道順】

東京メトロ表参道駅→表参道ケヤキ並木→表参道裏通り？→梅窓院→絵画館・日露国境標石→神宮外苑イチョウ並木→青山霊園サクラ並木（地図測量技術者墓碑めぐり）→青山橋・笄川跡→長谷寺→青山 7 丁目三叉路几号水準点→常陸宮邸・常盤松→蔦珈琲店→青山骨董通り→岡本太郎記念館・根津美術館→東京メトロ表参道駅

表参道ケヤキ並木：表参道は、明治神宮創建前年の 1919 年（大正 8 年）、同神社の正面側参道として整備された。現在ケヤキ並木で知られる表参道であるが、明治神宮鎮座時には街路樹はなく、その翌年になってケヤキの若木 200 本が植樹されたという。

梅窓院：浄土宗梅窓院は、寛永 20 年（1643）徳川家康公以来の家臣、老中青山大蔵少輔幸成公が逝去の時、 青山公の下屋敷内に 13,247 坪の地を画して側室を 大檀越として建立されたという（現在の梅窓院は三千余坪）。梅窓院墓苑内には、郡上藩主青山家歴代の墓や、シーボルトの弟子として蘭学を学んだ 竹内玄同の墓、赤帽・赤服・赤塗りの馬車に乗

り「天狗煙草」を売ったと言う明治時代の奇商であった岩谷松平の墓、江戸時代に幕府の法に反して建立されたキリシタン燈籠などがあるというが？

聖徳記念絵画館・日露国境標石：明治 37､38 年の日露戦争の終結後、ポーツマス条約によって樺太の北緯 50 度以南を日本領土とすることが決定された。明治 39 年（1906）日本郵船小樽支店会議室に日露国境画定委員が集合し、画定事業の実施について話し合われた。会議は、日露とも平山清次教授、アフマメーチフ陸軍大尉といった天文学者といったメンバーで開かれ、事業も天文学者と測地測量技師（矢島守一ら）によって実施された。
国境周辺で天文測量を行い、天文緯度北緯 50 度の通過地点を求め 4 個の天測国境標石と 17 基の小標石を埋石し、樺太を横断する延長約 130ｋｍに及ぶ国境線の森林を幅約 10mに渡って伐採したという。明治神宮外苑の絵画館向かって左側植え込みの中に、標石の前面には菊花の紋章、背面には双頭の鷲、右面には「天測第４号」の、左面には「ＡＣＴＰ」と刻まれた、天測標のレプリカがある。これは、当時の樺太庁から記念に奉献されたものだという。

聖徳記念絵画館には、当時の測量のようすを描いた「樺太国境画定」（安田稔画）が展示されている。

日露国境標石・表参道ケヤキ並木

神宮外苑銀杏並木・青山霊園桜並木

神宮外苑銀杏並木：明治 41 年（1908 年）に新宿御苑の在来木から採集したいちょうの種子を豊島御料地（現在の明治神宮内）の苗圃に蒔き、樹高 6m 内外に成長していた 1,600 本より選ばれたものを植栽したもので樹齢 100 年を超す。兄弟木は、明治神宮北参道に通じる JR 千駄ヶ谷駅前道路（旧内外苑連絡通路）の並木など。

青山霊園（地図測量技術者墓碑めぐり）：

・全国測量の計画「全国測量一般の意見」を具申した初代陸地測量部長小菅智淵の墓
（青山墓地　東 6 通り）
・日本経緯度原点の緯度値を観測した肝付兼行の墓と肝付兼行閣下墓碑
（青山墓地　西 1-１種ロ 3 6）
・全国測量の計画「全国測量一般の意見」を具申した初代水路部長柳楢悦の墓
（青山墓地　西 2-１種イ 10 1）
・天文台の創設と地籍測量の重要性を提言した近代水道の創設者でもあるパーマーの墓
（青山墓地　外人墓地）
（その他）
大久保利通　東１-１種イ 2 15
志賀直哉　　東１-１種イ 2 11
齋藤茂吉　東１-１種イ 2 13
吉田　茂　東 1-1 種ロ 12 1

長谷寺（ちょうこくじ）：曹洞宗永平寺の東京別院。本尊は釈迦牟尼佛。
観音堂には十一面観世音菩薩（通称、麻布大観音）が安置されている。
観音は、左手に蓮華の宝瓶を、右手には数珠をかけ錫杖を持ち、左足は半歩全身する独特の姿で、観音と地蔵両方の徳を持つとされる。高さ３丈３尺（約 10m）樟の一木彫り木造として国内最大級の大観音像。日本百観音霊場(西国・坂東・秩父)を参拝して集めた土を地中に納めているので、この観音様をお参りすると百観音を参拝した功徳があるとされている。
その昔、寺の裏手（現根津美術館）には日向国高鍋藩秋月家下屋敷があって、屋敷内の池から境内の脇を通って笄川に至る支流が存在していた。井上馨、黒田清輝、坂本九、榎本健一などの墓がある。

青山７丁目三叉路几号水準点：ご存知几号水準点は、どこにあるのだろうか。難しい。

青山７丁目三叉路几号水準点（ポストの下）

常陸宮邸と常盤松：もと薩摩藩島津家下屋敷跡。この辺りにあった源義朝の妾常盤が植えたと伝えられる樹齢 400 年にもなる常盤松にちなんで「常盤松御用邸」と呼ばれている

蔦珈琲店：青山学院の東にある蔦珈琲店では、都会のド真ん中とは思えぬ佇まいの庭園を眺めながら美味しいコーヒーがいただけるというが、今はどうだろうか。

青山骨董通：かつては「高樹町通り」と呼ばれていた都電の走る青山通りは、今では「青山骨董通り」とも呼ばれる。

根津美術館：東武鉄道の社長などを務めた、実業家で茶人の初代・根津嘉一郎の収集品を展示するためにつくられた美術館。美術館の敷地は根津嘉一郎の私邸跡で、現在も広大な日本庭園があり茶室も点在しているのだが、入場料（¥1200）を払わなければ見ることはできない。

近くには、岡本太郎記念館もあるが、ここは入場料を払わなければ庭にも入れない。

91-2　表参道・絵画館・青山２　（7.5km）

【道順】

東京メトロ表参道駅→表参道裏通り？→海蔵寺・梅窓院→絵画館・日露国境標石→神宮外苑銀杏並木→青山霊園（地図測量技術者墓碑めぐり）→青山橋・笄川跡→長谷寺→岡本太郎記念館・根津美術館→青山骨董通り→蔦珈琲店→東京メトロ表参道駅

+＊＊＊+　オフィス　地図豆　Yamaoka　mitsuharu　+＊＊＊+